
まえを向いたら。

M a G i

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

まえを向いたら。

【Nコード】

N6725N

【作者名】

MaGi

【あらすじ】

友達にはめられ容疑者になってしまった「真下一成」。
希望も何もかも失いかけていた彼のもとへ
女みたいいきやしゃで背の低い男「麻野雅」が同室者としてやってくる。

一成は無実を証明できるのか？

そして雅との関係は・・・？

そんな2人を描いた、残酷な現実、哀しい過去がありながらもそれを乗り越えて進んでいく、切なくもどこかあたたかくなる

M a G i の初投稿連載小説！！

過去と出会い

「すみません」

それが君の口癖だった。

現実には嫌いだ。

裏切られて終わるだけ、そんな悲しいせかい。

俺、真下一成は2・3年前まで友達がいた。

それなりに仲がよかった。

・・・はずだった。

壊れた理由は簡単だ。

そいつは、俺に罪をかぶせた。つまり冤罪だ。

そいつはかつとなり、自分の彼女を刺した。

「どうしよう・・・」

そんな電話が俺にかかってきた。

急いで現場に行き、ドアを開けた。

そいつは、泣きながら俺に抱きついてきた。

・・・なぜそのとき気づかなかったのか。

俺は、ばれないようにするため協力した。

凶器の処理をしているとパトカーの音が聞こえた。

「・・・!？」

周りを見渡したとき、そいつの姿はそこにはなかった。
当然捕まったのは俺。

そのときやつと気づいた。

「俺八、ハメラレタ」

俺は今、刑務所にいる。

懲役何年かは覚えていない。

冤罪だとは誰も信じてくれなかった。

・・・当然か。

以前の生活とあまり変わらない生活を、狭いこの部屋で過ごしている。

変わったことといえば、毎日めれた時の夢を見るくらいだろうか・
・。

そんな毎日を過ごしていたある日、ひとりの女が入ってきた。
前髪が長く、顔がよく見えない。
話によると男を毒殺したらしい。

ある日、工場へ向かうときその女とぶつかった。

「すいません・・・」

「あっ・・・」

か細い声でそう言って、走っていてしまった

過去と出会い（後書き）

最初といろいろ変えたので、もう一度読んでいただけると、幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6725n/>

まえを向いたら。

2010年10月10日17時22分発行